

- ・ ブランチ・ラボ開設
- ・ 診療科紹介 - エキゾチック動物診療科 -
- ・ 越智賞&日本獣医学会受賞
- ・ 診療用の白衣・スクラブ導入
- ・ 退職のご挨拶
- ・ 東大VMC基金活動報告
- ・ 臨床試験のご案内



東京大学大学院農学生命科学研究科 附属動物医療センター 広報誌
Veterinary Medical Center, the University of Tokyo | NEWS LETTER NO.7 Nov 2022

お知らせ

病院内にブランチ・ラボを開設しました

獣医療においても、臨床検査の精度管理や施設間での標準化は大きな課題となっています。当センターでは、これまで院内の主力の生化学検査装置として、操作が簡便で迅速なドライケミストリーシステムを長く利用してきました。その一方で、ウェットケミストリーを利用したブランチ・ラボの開設は検査の安定性やコスト面において利点が大きく、導入に向けて長らく調整を進めていました。

2022年8月に病院内にブランチ・ラボの開設が実現し、生化学検査や全血球計算、その他のルーチンの臨床検査をサンリツセルコバに委託しました。検査項目等に変更はありませんが、専任スタッフが

常駐して担当医と連携を取りながら高い精度で検査を実施しています。また、これまで臨床検査の作業を行っていたスタッフが診療業務に集中できるようになったことで、より効率的に獣医療サービスを提供する環境が整いました。獣医療を取り巻く環境は時代に合わせて変化していますが、VMCも常に成長を続け、高いレベルの獣医療を提供できるよう今後も努力を続けてまいります。

用語

ドライケミストリー：薬液を沁ませて乾燥させたスライドに検体を点着させて測定する手法

ウェットケミストリー：液体試薬を用いて検体の分析・測定を行う手法

ブランチ・ラボ：病院内に設置された、検査会社の受託検査室



左：大型の生化学検査装置が導入された検査室内の様子。 右：臨床検査を担当する専任スタッフ。

診療科紹介：エキゾチック動物診療科

エキゾチック動物診療科では、主に犬猫以外の家庭で飼育されている動物を診療しています。具体的にはウサギやフェレット、ハリネズミなどの小型哺乳類から、セキセイインコなどの鳥類、トカゲやカメなどの爬虫類まで様々な動物種が診療対象となります。また、時にはライオンやアシカなど動物園動物の診療を行うこともあります。

動物はその種に限らず、ヒトや犬猫と同様に様々な病気になります。エキゾチック動物診療科では、動物種毎の特徴や注意点を把握しながら、必要に応じて各診療科の先生や動物園等の外部の先生と協力し、それぞれの専門性を生かして様々な動物の様々な病気の治療を行っています。MRI・CT検査や内視鏡検査、放射線治療など、二次診療施設としての強みを生かして犬猫以外の動物にも犬猫と同様の検査や治療が受けられるよう努めています。

また、これらの動物では獣医学的な情報も十分ではないため、病理診断部などとも連携して診療で得られた知見を埋もれさせることなく積極的に論文として世界に向けて公表することで国内外の獣医師と情報共有しています。

動物種毎の好発疾患や注意すべき疾患はほぼ決まっており、それらに対する診断や治療法の情報は日々更新されています。高度な治療だけではなく、ウサギやハリネズミはよくわからない、対症療法ではよくなる、など動物種や症状でお困りのことがあればお気軽にご紹介ください。なお、スタッフの関係で入院等の受け入れができない場合もありますのでご不明な点があればお問い合わせください。





お知らせ

中山先生の越智賞受賞&前田先生の日本獣医学会賞受賞

この度、前センター長を勤められていた中山裕之先生が第33号日本獣医学会越智賞を受賞されました。越智賞は獣医学の学術研究あるいは教育の振興に顕著な功績をおさめた学会員に対して授与される、大変名誉ある賞です。受賞に際して、中山 前センター長より「飼い主様や紹介病院様をはじめ、お世話になった皆さまに改めて感謝申し上げます。受賞研究課題は『動物の中枢神経老化に関する比較病理学的研究』ですが、臨床症例の病理診断、VMCや日本獣医学会の運営なども含めてご評価いただいたものと考えています。2年半前に東大を退職した後は、一病理医として病理診断と研究に従事しております。この受賞を契機とし、今後も臨床と病理の橋渡し役として、さらに尽力する所存です」とお言葉をいただきました。

また、同学会において、当センター第一内科（獣医臨床病理学研究室）の前田真吾先生が2022-2023年度 日本獣医学会賞を受賞されました。この賞は、獣医学領域において顕著な研究業績をあげた学会員に対して授与される名誉ある賞です。今回、前田先生は

「がんの自然発症動物モデルとしてイヌを用いたトランスレーショナルリサーチによる新規治療法の開発」という研究業績で受賞されました。前田先生より、「犬の膀胱癌・前立腺癌に対する基礎研究から臨床試験までを一貫して実施したことが評価されて、受賞に至りました。当センターの臨床試験に参加してくださった飼い主様や、症例を紹介してくださった先生方に厚くお礼申し上げます。今後もし協力をお願いいたします」とお言葉をいただきました。



左：越智賞を受賞された中山裕之先生

右：日本獣医学会賞を受賞された前田真吾先生



お知らせ

診療スタッフの白衣とスクラブを導入しました

当センターの卒業生の先生方からご支援をいただき、診療スタッフのための白衣とスクラブを新たに導入しました。ユニフォームが統一されていなかった以前と比べて飼い主様がスタッフをひと目で認識しやすくなり、見た目もスマートで清潔感のある印象になりました。白衣とスクラブはいずれも機能的かつ着心地が良く、チームの一員としての連帯感もさらに高まりました。

2019年の白衣の導入にはみずほ動物病院の兼島孝先生、今年度のスクラブの導入には高橋犬猫病院の高橋一成先生にお力添えをいただきました。心より御礼申し上げます。スタッフ一同、気を引き締めて最高の診療ができるよう精進していきたいと思っております。



退職のご挨拶

内科系診療科の茂木先生が退職いたしました。今後の益々のご活躍を、スタッフ一同祈念しております。

この度、2022年9月をもちまして東京大学附属動物医療センターを退職しました。大学院では犬のリンパ腫の研究をしていたにも関わらず、紆余曲折を経て2018年より神経・内分泌・泌尿器の診察を担当することになり、当初は不慣れな領域で困惑していた私を辛抱強く見守っていただいたVMCの先生方には本当に感謝しております。また、私の個人的な趣味で行っていた臨床感染症についても、当時の内科学研究室内の教授である辻本先生に寛大なご配慮をいただき、院内のコンサルティングサービスとして提供できるようになりました。おかげさまで臨床感染症で困った際にはひとまず茂木に聞いてみようという機運が生まれ、私にとって新たな武器となりました。

さて、私は元々『動物情報と疾患を統合し、治療する』という概念実証を自身のライフワークとしております。最初のポストドクでは「情報と疾患の統合」、東京大学では「疾患と治療」を学んできましたが、まだ能力不足を感じており、ポスドク大学の計算生物医学部門に籍を移すことになりました。最終的には国内外の獣医療に還元できるよう、しっかりと勉強して参ります。

4年間という短い間でしたが、本当にありがとうございました。アメリカの地より皆様のさらなるご活躍を祈念しております。

前 VMC 内科系診療科 特任助教
現 ボストン大学計算生物医学部門

茂木 朋貴





お知らせ

東大VMC基金の活動報告

東京大学動物医療センター140周年記念基金（東大VMC基金）の設立より約3年が経過し、これまでに皆様からいただいたご寄付を院内設備や診療機材の充実、教育活動などの様々な用途に活用してまいりました。今年度は寄付金を利用した院内環境整備の一環として、待合室のベランダの改装工事を行いました。長時間の検査などで飼い主様や動物たちをお待たせしてしまう際に、ベランダは飼い主様の気分転換や動物の休憩の場として重要な役割を果たします。今回の改修工事では、床面や外壁の補修と塗り替え、ベンチの新調を行いました。当センターを訪れた皆様が少しでも快適に過ごせるよう、今後も飼い主様と動物たちにやさしい環境づくりを目指してまいります。

本基金プロジェクトは今年度の9月末で当初の募集期間を終了しましたが、皆様からの応援の声を聞き、新たに「東京大学附属動物医療センター未来基金」と名称を変更して延長することになりました。いただいたご寄付は引き続き、1. 診療施設の整備、2. 低侵襲治療の導入、3. 獣医師の教育と育成に活用させていただきます。皆様からのご理解とご協力はスタッフにとって何よりの励みとなっております。返礼品の基準となる寄附金額の累計は、140周年記念基金から引き継がれますのでご安心ください。詳細については、東京大学附属動物医療センター未来基金のホームページ（右上のQRコード参照）をご覧ください。これからも引き続き皆様からのあたたかいご支援を心よりお待ちしております。



これまでにご支援いただいた金額
総額 27,909,638 円
(2022年10月20日現在)



左：改修したベランダの様子。手すりには安全面に配慮して木製の柵が設置されました。

右：安田講堂で開催された2022年度東大基金活動報告会において、西村センター長が動物医療センター140周年記念基金の活動内容を報告しました。

Information

臨床試験のご案内



東大VMCでは現在以下の臨床試験プログラムを実施しています。当該症例に遭遇した場合は当センターへご紹介をお願いします。詳細は右上のQRコードを参照ください。

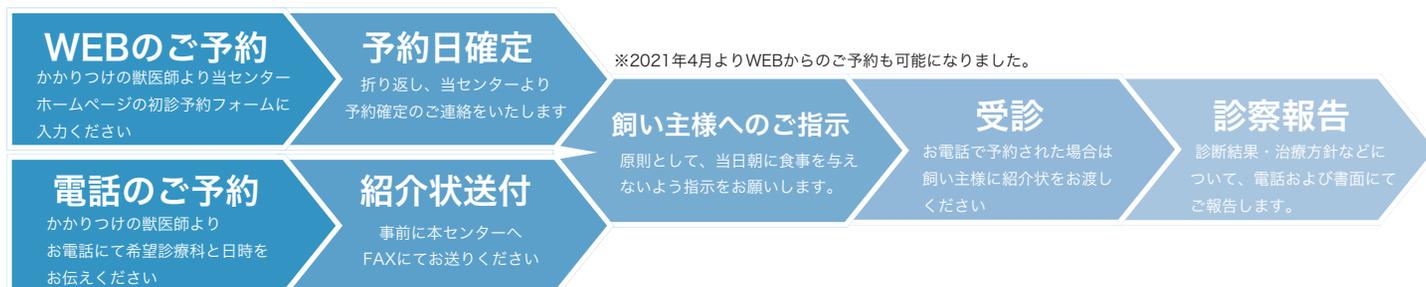
犬の膀胱癌に対するIDO1阻害剤の臨床試験

- 対象**
- 犬膀胱癌に罹患した症例（疑い症例の受診も可能です）
 - 東京大学附属動物医療センターに通院できる飼い主様（試験開始後1, 3, 5週目の通院が必要になります。）
 - 治療効果検証のための病変の採材にご協力頂ける飼い主様

犬の固形腫瘍に対する高分子型抗癌剤の臨床試験

- 対象**
- 外科手術による根治的切除不能あるいは転移病変を有する悪性固形腫瘍のうち、放射線や抗癌剤などその他の有効な治療法が無い症例（脳腫瘍、末梢神経鞘腫、扁平上皮癌、線維肉腫、悪性黒色腫、甲状腺癌、肺癌、肝臓癌、膵臓癌、胃癌、腸腺癌、消化管間質腫瘍、副腎腫瘍、腎癌、尿路上皮癌、肛門嚢腺癌、乳癌、骨肉腫、血管肉腫、肥満細胞種、組織球性肉腫などのうち、標準治療の有効性が期待されない、または耐性となった症例）
 - 東京大学附属動物医療センターに通院できる飼い主様（治療期間中は1～2週に1度の頻度での通院が必要になります。）
 - 治療効果検証のための病変の採材にご協力頂ける飼い主様

初診予約～診察の流れ



初診外来表

診療科	初診 受付時間	月	火	水	木	金
内科系	9:00-11:00	△	○	○	△	○
外科系	9:00-10:00	○	手術	手術	○	手術
眼科	9:00-11:00	○	○	手術		○
エキゾチック	9:00-10:00	○		手術		
行動	午前・午後	○			○	

△：要相談

予約専用（代表） ☎ 03-5841-8004（平日 11:00-16:00）
 其他のお問合せ ☎ 03-5841-5420（平日 9:00-16:00）
 ☎ 03-5841-5413（平日 16:00-20:00）
 行動診療科はFAXにて予約：03-5841-8190
 （詳細は <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/koudou/j-clinic1.html>）

アクセス



- ★電車でお越しの場合：
 ・メトロ南北線 東大前駅 出口1から徒歩3分
 ・メトロ千代田線 根津駅 出口1から徒歩13分（根津駅からは登り坂です）
- ★お車でお越しの場合：
 ・農学部正門からお入りください。病院の前までお入りいただけます。

COVID-19感染拡大防止のための大学活動制限により変更される場合があります。

ご予約時の注意点（詳細は右下のQRコードをご参照ください）

当センターでは病気の確定診断や、手術などを含む高度医療に主力をおいています。そのため、一般的な治療や診断後・安定後の治療はできる限り紹介医にお願いすることを原則としておりますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 外科の初診は診察のご予約になります。手術のご予約ではありませんのでご了承ください。また、麻酔が必要な検査や処置は初診当日に行えない場合があります。
- ・ 当センターの放射線治療装置はオルソボルトージのみとなっています。当センターの放射線装置での対応が難しい場合は他の診療施設を紹介させていただく場合があります。オルソボルトージ装置では適応外の場合には他の診療施設への紹介をご検討ください。
- ・ 眼科では設備の都合上、白内障手術は現在対応できません。
- ・ 診断あるいは治療方針が確定しましたら、原則として紹介病院にお引き継ぎいただきます。
- ・ ご紹介後、当院の休日（土日祝日など）で対応できない場合は、貴院での対応をお願いいたします。（診察日であっても緊急手術などの緊急対応には原則として応じることができませんのでご了承ください）
- ・ 当センターはエキゾチック動物診療科を設置しておりますが、動物種によってはお受けできない場合がありますのでご了承ください。

また、以下の点を飼主様へ説明をお願いします。

- ・ 来院当日の朝は絶食の上でお連れください（飲水は可）
 （糖尿病、幼齢、エキゾチック動物などで絶食が困難と思われる場合は当センターにご確認ください）
- ・ 当日の検査は、動物の状態や当センター全体の検査状況に応じて行います。
 初めて来院される際に、必ずしも全ての検査が行なえるとは限りませんのでご了承下さい。
- ・ 緊急性がある場合をのぞき、予約当日の外科手術は行なっていません。

詳細はこちら▷



休診のお知らせなどの情報更新は随時HPで公開しております。HPもぜひご覧ください。

<http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>

Facebookもチェック



東京大学附属動物医療センター
 Veterinary Medical Center, The University of Tokyo

【住所】 〒113-8675 東京都文京区弥生1-1-1
 【TEL】 予約専用（代表）：03-5841-8004【受付時間】 平日11:00～16:00
 其他のお問合せ：03-5841-5420【受付時間】 平日 9:00～16:00
 03-5841-5413【受付時間】 平日16:00～20:00
 【URL】 <http://www.vm.a.u-tokyo.ac.jp/vmc/>

編集・発行

編集委員：東京大学附属動物医療センター 広報委員会

発行日：2022年11月1日 発行所：東京大学附属動物医療センター